

御宿

O N J U K U

平成8年 12月

町勢
特集号

1996 第398号
千葉県御宿町役場



月の沙漠記念館

町政特集

美しい環境から 明るい未来を創造



御宿町長 伊藤 治昌

御宿の美しい環境を守ることは私達の生活を守り、リゾート客が楽しめる町づくりには必要なことです。

御宿の駅を降り、商店街、白い美しい海岸、そして岩和田の記念塔に向かう人々が綺麗な川や街並みの景観を見ればリゾート御宿への期待が増し、その快さが長期滞在や再来につながるでしょう。

岩和田、浜の磯根の汚染の大きな原因の一つは、網代湾にそそぐ河川の浮泥であることが三年間の網代湾環境調査で解明されました。この解析

結果を千葉県に報告したところ理解を示され、清水川水辺環境整備計画を進めてくれることになりました。これにより、清水川とその周辺は、昔、私達が親しんだ情緒ある川に戻るでしょう。そして、今後の網代湾とその周辺の海、漁場の再生にもつながるでしょう。

また、町では環境保全という点から不法投棄の監視員をお願いしました。どうぞ町を綺麗にし続けるため、町民の絶大なるご協力、ご支援をお願いいたします。

この一年間、町では県民カレッジの開講や、第一回全日本学生ライフセイビング大会、そして中学生海外視察研修旅行などを実施しました。なかでも、二十一世紀の御宿を担う中学生がオーストラリアで十日間もいろいろな勉強や経験をしたことは、これからの国際化の時代にきっと将来の

大きな宝となるでしょう。この事業はこれからも継続し、多くの中学生の参加が出来る方法を考えていきます。

生活の基盤を整備するという点では、平成六年から実施してきた新久井地区の土地改良事業がほぼ完了し、町道〇一〇五号線西琳寺橋の架け替え工事も完了しました。今後も、住民の皆さまのご要望も出来るだけ組み入れて事業を行っていく予定です。

また、名誉町民加藤まさを生誕百年記念実行委員会、野沢温泉村・御宿町姉妹都市提携実行委員会、なども設置しました。

この町勢特集号により、町の一年間の歩みを振り返り、新たな町づくりを皆さんとともに考え推進するためお届けします。

町の姿をご理解頂き、皆様のご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成八年 町の動き



- 〆一月〃
 - 四日 新年祝賀式
 - 七日 出初式
 - 一五日 成人式
 - 三一日 冬季海と山の子交流事業(〆二月二日)
- 〆二月〃
 - 二二日 生涯学習推進大会
- 〆三月〃
 - 二〇日 お魚ウィークス&月の沙漠童謡大会(〆三一日)
- 〆四月〃
 - 三日 保育所入所式
 - 五日 小学校入学式
 - 六日 中学校入学式
- 〆五月〃
 - 一二日 消防団統一訓練
 - 一六日 町民チャリティーゴルフ大会
 - 二六日 マリンフェスタ御宿
- 〆六月〃
 - 二三日 消防ポンプ操法大会
- 〆七月〃
 - 四日 町営プール開き
 - 青少年つどい大会
- 〆八月〃
 - 一日 花火大会
 - 五日 メキシコ少年野球団来町(〆八日)
 - 二〇日 中学生海外研修旅行(〆二九日)
 - 三一日 第二回千葉県ビーチバレーボール大会
- 〆九月〃
 - 一日 防災訓練
 - 一三日 全日本学生ライフセイビング大会
 - 一五日 敬老会
 - 二八日 秋祭り(〆二九日)
- 〆十月〃
 - 一〇日 町民体育祭
 - 二〇日 衆議院議員選挙
- 〆十一月〃
 - 三日 文化祭
 - 一五日 合同七つ子祝い
 - 二九日 御宿町民号(〆三〇日)
- 〆十二月〃
 - 一日 防火デー
 - 三一日 渚の火祭り



住みよい 豊かなまちづくり

町では、「住みよい豊かなまちづくり」を目指し、今年度から平成十年度を目標とする「3カ年実施計画」を策定し、次の六つの柱を基本に計画を進めています。

- 一、基礎的條件の整備
(未来を創造するまち)
- 二、教育文化の向上
(豊かな人間性を
はぐくむまち)
- 三、福祉・医療の充実
(あたたかい心の
かよいあつまち)
- 四、産業の振興
(活力に満ちたまち)
- 五、生活環境の整備
(快適で安心して
暮らせるまち)
- 六、行政の近代化とコミュニティ形成
(住民と行政が
つくるまち)

一、基礎的條件の整備 (未来を創造するまち)

御宿町の恵まれた自然環境を維持しながら、自然と調和のとれた開発等の誘導を図るため、計画的な土地利用の推進が必要です。このため今年度は、都市計画の早期導入を目指し、基礎調査を実施しました。

二、教育文化の向上 (豊かな人間性を はぐくむまち)

町内各小学校において、情報化社会に対応していくためパソコンが導入されました。中学校では、国際教育の振興を目的に海外視察研修旅行を実施し、オーストラリアに十八名の生徒を派遣しました。公民館においては生涯学習の拠点として各種教室の開催や、スポーツ・レクリエーショ

ン活動の助成を促しています。また、今年度より幼児教育の一環として海洋センターにおいてリズム体操教室が開講されました。

三、福祉・医療の充実 (あたたかい心の かよいあつまち)

御宿町では、四人に一人が六十五歳以上という高齢化社会を迎えており、疾病構造も大きく変化してきています。住民にニーズに沿った「だれもが」健康で健やかに暮らせるための諸施策を展開するにあたり、今年度より、ホームヘルパーを増員し、巡回車を整備しました。これからも在宅福祉の充実を進めていきます。

また、三大成人病による死亡者の急増により、町では各種検診、健康相談、健康教育の実施により、一次予防を充実し、早期発見、早期治療を図っています。

四、産業の振興 (活力に満ちたまち)

農業は、平成六年度から実施してきた新久井地区の土地

改良事業が概ね完了しました。今後は、未整備地区の改良事業を推進していく予定です。

また、活気ある商店街づくりをすすめていくために、昨年からはスタートした中小企業振興利子補給制度を引き続き実施しました。

観光では、恒例となったビーチバレーボール大会や今年初開催となったライフセービング大会が行われました。さらに来年は、加藤まさを生誕百周年にあたりその記念事業に向けての準備も進められています。

五、生活環境の整備 (快適で安心して 暮らせるまち)

今年度、西琳寺橋橋梁整備工事が概ね完了し、半島振興道路としての町道〇一〇五号線の整備が一段と進みました。また、環境浄化として環境整備員による美化対策や、分別ゴミ収集の徹底、リサイクル活動を推進しています。

六、行政の近代化と コミュニティ形成 (住民と行政が つくるまち)

行政事務を効率的かつ迅速に処理するために、電算システムの導入をこれからも推進していきます。

コミュニティの形成に重要な活動拠点施設である地区集会所は施設の状態や要望に応じてこれからも整備の助成を図ります。



高齢化・情報化

そして地方分権

住民サービスに直結した

簡素で効果的な行政システムを

高齢化、情報化、国際化の進展、さらには国内経済の低迷といった社会状況の変化に加え、地方分権の推進など、地方の行政を取り巻く環境は、大きく変化しています。

こうした状況のなか、多様化する行政需要に対応しつつ、住民福祉の向上と地域の活性化を図るため、「最小の経費で最大の効果を挙げる」という行政の基本原則を踏まえ、行政改革に取り組んでいます。



平成八年度を初年度とする「御宿町行政改革大綱」は、次の六項目を重点とし、庁内組織であります行政改革推進本部を中心に、職員が一元と

4 定員管理の適正化

3 給与の適正化

2 組織・機構の簡素合理化

・行政経費の削減合理化

・財産運営の効率化、適正化

・町単独補助金の見直し

・使用料、手数料等の適正化

(2) 財政運営の健全化

・公共施設の設置及び管理運営の合理化

・OA化等事務改革の推進

・民間委託

・事務事業の整理合理化

1 事務事業の見直し

(1) 行政運営の効率化

・市民委託

・OA化等事務改革の推進

・公共施設の設置及び管理運営の合理化

・使用料、手数料等の適正化

(2) 財政運営の健全化

・町単独補助金の見直し

・財産運営の効率化、適正化

・使用料、手数料等の適正化

(2) 財政運営の健全化

・公共施設の設置及び管理運営の合理化

・OA化等事務改革の推進

・民間委託

・事務事業の整理合理化

1 事務事業の見直し

(1) 行政運営の効率化

・市民委託

・OA化等事務改革の推進

・公共施設の設置及び管理運営の合理化

・使用料、手数料等の適正化

5 職員の資質向上

6 町民サービスの向上

この重点事項に基づき、行政改革として取り組むべき事項について、実行、検討が進められています。

行政改革イコール経費の削減という観点ではなく、住民サービスを低下させない改革、住民の皆さんが納得できる改革——すなわち、長年慣行的に実施され、現在ではあまり効果のない事業などは見直し、住民要望の大きな新規事業に充てていくなど、単に行政経費の切り捨てではないことをご理解いただきたいのです。

また、国や県の行政改革や地方分権の推進に伴い、町に對する権限委譲が増大することとは明らかであり、その受け皿としての簡素で効率よい行政組織の見直しが急務となっています。

このように、「行革」は、多くの目的を持っており、その実現の度合いが、今後の町行政運営の効率化に大きく係わってくることをご認識いただき、町の行政改革についてのご意見、ご提言を期待しています。



新久井地区 土地改良事業完了

【農業】

第一次産業の環境は高齢化、就業者離れ、価格の低迷でその生産量は減少の一途をたどっています。

このような中で、農村の環境整備事業の一環で取り組んできた上布施新久井地区の土地改良事業が本年度で完了し

ます。この事業により、一〇ヘクタールの区画整理と六五四メートルの農道が整備されます。

今後は未整備地区の方々と話し合いを進め事業に取り組んでいきます。稲作については本年より航空除を農薬の使用を減らすことから一回としました。その結果、一等米の比率は八九%で郡内でも高い地位にあります。米生産調整は農家の協力により県からの割当に対して一二〇%達成することができました。



近年、花栽培の農家が増え本年度は「千葉の花産地整備事業」により一〇戸の農家が参

加し、温室を整備しました。今はストックや菊が栽培されています。町内の店頭にも販売されています。

〔林業〕

松くい虫防除事業は今年で二十年目を迎えました。今年度においてはすでに伐採を開始し、二月中には完了の予定です。伐採本数としては年々減少傾向にあり、今後、各家庭における、より一層の防除を期待するところです。

林道整備事業では、災害復旧事業として、実谷線、実谷支線、打越線、芝谷線の復旧工事が完了し、丸山線、実谷支線の復旧工事に着手する予定です。また今後の予定としては、打越線の路肩工事を計画しています。

治山事業においては、浜藪之内地先の山留め工事が完了し、今後の整備としては、高山田人見塚地先の山留め工事を予定しています。

今後におきましては、林道整備、治山工事をはじめ、住民の方々が安全に利用できるような施設の整備を心がけます。

水産業

網代湾環境

調査進む

ヘドロの堆積原因追求を目的とした、網代湾環境調査は今年で三年目を迎え、今年には御宿漁港付近の鶴石海岸から中央海岸を中心に、調査を行いました。これまでの解析結果では、ヘドロの堆積原因は潮流による影響が大きく、基本的には各方面からの流入物は、岩和田の建根地先に堆積する性質をもった潮流であることがわかりました。この調査をもとに、今後は生活排水等、地域住民の方々の協力をいただき、磯根の保護に努めたいと思えます。



また、漁獲水揚量は夷隅地域総水揚量で九千三百七十トであり過去三十年間で二度目の一万ト以下の水揚量でした。御宿町においても、イカ・タコ・伊勢エビは前年を上回ったものの、全体的には減少傾

向にあります。中でも、アワビ・サザエの減少は著しく前年の約七分の一の不漁でした。町では対応策として、御宿・岩和田二組合の協力のもと、アワビ・サザエの種苗放流を引き続き実施し、磯根資源の

確保に尽力します。

さらに、夷隅地域栽培漁業振興協議会でヒラメの種苗放流を実施しました。御宿町でも、御宿町漁協・岩和田漁協各二千匹の計四千匹を放流しました。すぐには効果が現れないものの、一年後、二年後のヒラメ漁が楽しみなところ

です。漁港整備では、災害復旧事業として、岩和田漁港の東中

建設

重要な生活基盤の整備

町基本構想に基づく第四次実施計画の初年度にあたり地域住民の生活に重要な基本施設である道路整備を主体とした公共土木施設整備も着実に進められています。

今年度の主要事業としての〇一〇九号線(リゾート関連道路)の工事の継続と、西琳寺橋拡幅工事の完成、〇一〇五号線道路改良工事の推進、〇一〇一号線交通安全対策事業の工事を実施します。

防波堤の復旧工事が完了し、平成九年一月からは、東防波堤の復旧工事に着手する予定です。今後の整備としては、御宿漁港野積場用地の舗装整備、岩和田漁港の防波堤嵩上げ工事を計画しています。今後は、水産振興、漁港・海岸整備をはじめ、御宿・岩和田の二組合併に積極的に取り組んでいきます。

町の財源のみで実施する単独工事は十五路線、予算額は五千七百万円の、規模となり、これらの内訳は次のとおりです。

一、舗装修繕工事は、路面の傷んだ部分を重点に舗装の打ち換え、路盤の入れ替え等を実施し五路線を整備します。

二、道路改良工事は、現道の拡幅改良を三路線整備します。



三、道路排水整備工事は、主に蓋付側溝の敷設替えを行い、五路線を整備します。

四、その他の工事として、未舗装道路の舗装新設工事、河川維持及び改修工事、水路整備工事等を予定しています。

また、公共土木施設災害復旧事業も十三箇所を平成八年度事業として実施する予定です。

その他、国道の改良、歩道整備事業等を継続的に整備することとなっています。

これらの各種事業を円滑に行うため、地域住民や地権者の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

観光

いま観光で何が問われているか

今、観光は「光明」を求めています。長びく経済不況を背景に、円高による観光客の海外流出、一人当たりの消費金額の減少、車社会の進展による宿泊客の減少、とマイナス要因は多いところですが、今夏はアトラクタオリンピックの開催、〇―157による影響なども加わり、夏季観光客数は対前年比23%減の六十九万一千人とどまっています。この減少傾向は、全国的なものですので何もそう悲観したことはないと言われますが、町の基幹産業としての観光を再考し、活性化への突破口を見つけ出さなくてはなりません。その第一の方策として、現代は「本もの、本質」を追求する時代だと言われますが、各分野における「本質」の追求を提示したい。前述した諸々の社会状況の中で、観光客(消費者)のニーズ(要求)、意識は確実に高まっています。

「本物を見る目」「本物を求める意識」は非常に強く、観光客を受ける側としては、それ以上の意識を持たなくてはなりません。昭和四十年代、五十年代に見られた高度経済成長を背景とした観光は、とっくに姿を消しています。本質への取り組み、開発は、人々の精神性を高め、より豊かな心を醸成するものと考えます。まずそこに住む住民が物心ともに豊かになることが、リゾートづくりへの第一歩ではないかと思えます。

新年度施策

観光資源のほりおこし

御宿町の立地環境は、自然資源、歴史的、文化的資源のいずれにも恵まれています。自然環境資源の保全は、その施策を強力にすすめる必要があります。平成九年度は、ほりおこしが望まれる歴史的、文化的資源についてさらに光

をあててみたいと思えます。数多くある資源のなかで、今回は特に「メキシコとの史実」と「月の沙漠」をとりあげていきます。この二つのテーマに多角度から取り組み、それぞれの関係性を創造していきたいと考えます。



一六〇九年(江戸時代初期)

のあの史実に見る我々の祖先が起こした人類愛に満ちた行為、夢中になって裸で人の生命を救った無私の精神は、今に生きる我々が、その子孫として誇るべきことです。このテーマについていろいろな取り組みが考えられます。

「国際交流の町」としての位置づけもその一つです。

「月の沙漠」については、まず記念館運営内容の充実があ

げられます。平成九年は作詞者加藤まさをの生誕百年という節目の年となります。このことを記念し数々のイベントを実施していきたいと思えます。これを機に御宿で生まれた文化に多くの皆様に親しんでいただき、また楽しんでいただきたいと思います。総じて新年度は「文化」と「歴史」をテーマに広く取り組んでいきたいと考えています。

他に「海」だけでなく、「山」を視野に入れた休耕地の利用などによる花の町づくり構想、美しい海岸、自然景観を活用しての全日本ライフセイビング学生選手権大会や千葉県ビーチバレーボール大会の実施、さらに二十年の「海山交流」の歴史をもつ野沢温泉村との姉妹都市提携について実行委員会も設置され着々と準備をすすめています。

観光施設整備事業については、財政事情もあり限られた予算枠のなかで実施順位を決定し行っていききたいと思えます。主として既存施設の十分な管理と内容の拡充につとめていきたいと考えています。

町紹介観光パンフレットを

見直し、四季を通した御宿の魅力をアピールしていきたいと考えます。

(加藤まさを生誕100周年記念事業については、一月号の広報でお知らせします)

商工業

産品開発検討委員会

(仮称)を設置

大規模小売店法に伴う大型店の地方への進出が小売店業界に与える影響は非常に大きく、町内各商店においても次世代に事業を継がせようと思っても、なかなか難しい状況です。若者による地域の活性化、活力ある町づくりを目指す各行政体にとって全くプラス要因とはなり得ません。

町商店街の活性化はとりもなおさず主要産業である観光産業の活性化と密接に関係しますが、今、「観光は頭打ち」と言われる社会状況の中で農業や漁業を視野に入れた複合的視点が強く求められています。独自の活性化施策をたてえ小さな事でも打っていく必要があります。

平成九年度の町の施策として産品開発検討委員会(仮称)を設置し、農水産物に関する

産品開発を研究検討していきたいと考えます。これに関連して、御宿で収穫、生産されたものの「価値性」を重視し、商工会を連携しながら、流通経路の調査、及び生産、消費の在り方も研究して行きたいと考えます。冷めた投資意欲をいかに引き出すかという課題についても検討が急務です。

千葉県内の中小企業の動向について、建設業及び卸売業は少々上向いているものの製造業、小売業、サービス業は依然として厳しい状況にあります。

工業については、企業誘致が非常に困難ですが、雇用の確保、定住人口の増加を図るため、中小規模の研究機関を主体とした公害のない企業の誘致を考慮に入れていきます。

環境

住み良いきれいな生活環境づくり

社会経済の発展する現代社会は、経済的に豊かになりましたが、その一方で産業活動や社会生活から発生する廃棄物の量や質が大きく変化し、今やその適正処理や減量化、再利用について大きな課題とされてきております。

こうした状況を勘案し、「住み良い」、「きれいな」、生活環境づくりをめざし、諸施策を実施してまいります。

一、ごみ処理

清掃業務は、清潔な住みよい生活環境を確保するためには、毎日毎日が重要な業務です。

住民の皆さんの協力と一体となって初めてできるものです。本年もごみの資源化、減量化の一層の推進を図るために持ち込みごみの適正化、生ゴミを肥料化するコンポスト購入にあたり補助金の推進等を図ってきました。

啓発活動の一環としては、

二、河川浄化

河川浄化対策につきましては、今後とも小型合併浄化槽の普及促進に努め、川や海への生活雑排水の流入を防ぎたいと考えています。平成八年は、三十一基設置しました。

三、環境整備

花と緑のまちづくり事業として、老人クラブの皆さん、ボランティアの方々のご協力によって四季それぞれの花を植栽し、住民の皆さん、

観光におとずれた人に一時の安らぎを与えました。

四、リサイクル法

平成九年四月から容器包装リサイクル法が施行されますが、当面の間、スチール缶、アルミ缶のリサイクルを実施しながら、平成十二年四月から法に基づく分別収集を実施していく予定をしております。



消防

消防ポンプ車・戸別受信機等を整備

- アルミ缶、スチール缶
- ビン(三種類を色別に収集 無色、茶色、その他)
- 段ボール ○古紙
- 飲料用のペットボトル
- 右以外のペットボトル
- 紙パック

環境の問題は、住民、事業所、行政が一体となってはじめて出来るものです。それぞれの責任と分担を守って「住み良い、きれいな、生活環境づくり」にご協力をお願いいたします。

御宿町消防団は、一本部、八分団で構成され、二四五名の消防団員から組織されています。町民の皆さんの生命、財産を守るため、月二回の試運転や防災・防火・消火に関する各種の訓練、夏期の海岸警備や火災の発生しやすい時期となる歳末の夜警、花火大会や渚の火祭りなど町の実施するイベント等の警備などを行っています。

平成八年は十一月末現在、残念なことに一件の火災が発生しています。しかしながら野焼きによる休耕田の延焼に止まり、幸いに民家、人命への被害はありませんでした。町でも、高まる消防・防災

活動への期待を踏まえ、事業に取り組んでいます。

一つは、昭和六十三年度及び平成元年度において整備した防災無線戸別受信機の追加整備として一五〇台の購入を実施しました。この結果、約二〇二〇台が皆さんのご家庭や公共施設に整備されました。また、昭和五十五年以来十五年を経過し、老朽化の進んでいた第四分団(須賀・浜)のポンプ自動車、消防力強化のため、本年三月、新たに購入し配備しました。

さらに災害による火災や水害の多発に備えた消防力の強化として、可搬ポンプを積載したポンプ自動車の配備

(第3分団・六軒町)を来年春に向け進めています。

また、地震に備え、倒壊の危険のある公共施設の軽量ブロックの取り壊し工事にも取り組み、本年は御宿小学校等のブロックを撤去しました。

その他、災害時の備えとして、食料品約九〇〇食、毛布三〇〇枚を御宿小学校及び役場庁舎に備蓄品として収納しました。

今後ともこうした消防防災施設の整備や充実を計画的にすすめていきます。



水道

安定給水をめざして

—南房総広域水道企業団から受水—

平成七年度は、冬季に異常少雨による渇水があり、ダム貯水率が30%を下回り、それに対処するため公共施設に節水を呼びかけるとともに、各戸に節水のパンフレットを配付、また、配水圧力を制御し約10%の給水制限を実施しました。

また、既設のポンプ類・蓄電池等減耗の著しい機器の交換や配水管などの改良工事等を実施し、皆さんが安心して水道をご利用いただけるよう努めています。

幸いにも、その後の降雨により渇水対策本部を設置するような最悪の事態は回避したものの、このような深刻な水不足は、水道事業経営に直接影響し、また、町民の皆様は大変不安を与えることとなります。

町としても、こうした異常渇水にも十分な対応ができるよう対策を検討してまいりましたが、平成八年度・九年度において、南房総広域水道企業団から受水するための受水槽等の設置工事を行い、平成九年十月から受水することになりました。



保健

乳幼児から高齢者までを 保健・福祉の 二人三脚で応援!

老人保健法が施行されて十年余り……町の各種検診や相談事業もほぼ定着し、疾病の早期発見・早期治療や予防活動へと着実に結びついてきています。

住民課へと移り、福祉との連携を一層強め「暮らしを良くするための保健・福祉」がスタートしました。

反面、受診者・相談利用者の固定化がみられることは、集団検診の目的そのものを欠くものであり、もっと多くの方に利用していただけるよう工夫とPRをしていきたいと思ひます。

「老人保健福祉計画」の見直しや「母子保健計画」の策定・実施など乳幼児から高齢者まで全ての方に、今後は必要な時に、必要なサービスを提供していくことができるよう保健・医療と福祉が一体となつてのケア・コーディネート体制の整備を図っていかねばなりません。

福祉

誰もが住みやすい まちづくりを目指して!

「千葉県第四位!」——これは、平成八年四月一日現在での千葉県の市町村別高齢化率(総人口に占める六十五歳以上人口の割合)の町の順位です。

このように当町の社会福祉施策を促せるうえで、「高齢者福祉」は重要な位置づけをされています。平成六年度に国のゴールドプランに基づき策定された「御宿町老人保

健福祉計画」は、今年度においてホームヘルパーの増員や老人保健施設(夷隅町)の開設等、平成十一年度の目標達成に向けて整備を進めているところです。

また、「母子福祉」に関連して母子家庭及び父子家庭等に対する医療費等の助成事業の「対象者」が従来よりも大幅に緩和され、福祉の向上につながりました。

県では、高齢者や障害のある方々をはじめ、誰もが住みやすいまちづくりを目的とした「福祉のまちづくり条例」が制定されました。町でも今年度から住民課の福祉業務に保健衛生業務が加わり、より保健・医療・福祉の連携を深め、住民の皆様の多様化する保健・福祉ニーズに対し総合的なケア・サービスの供給体制を図り、誰もが住みやすいまちづくりをめざしていきます。



国保

国民健康保険で安心 みんなの健康

長い人生の中で、いつ、どこで、どんな、大きな事故に遭つたり病気になるつたりするかは予測できません。

誰かが病気やけがで困つていたら、みんなが助け合つて自分が困つたときは、みんなが助けてくれる。いざというときに安心して治療が受けられるよう、普段からみんなでお金を出し合う「助け合いの制度」が国民健康保険です。

国保のしくみ
国保の事業を運営するのは、市町村で、これを保険者といひます。保険者はみなさんに納めていただく保険税と国などから補助金を財源として、医療費などの給付を行つていきます。

保険税が国保をささえる
保険税は国保の収入の約四割を占める、最も貴重な柱であり、国などの補助金とともにみなさんの医療費などを給付する大切な財源となります。

もし保険税を納めない人がいると国保の運営は苦しくなり、みなさんの負担を軽くするための給付もストップ!ともなりかねません。みなさんの保険税が国保を支えていることを忘れないでください。

国保にはいろいろな給付制度があります。

- 1 高額医療費
- ①月の医療費の支払い額が六万三千円を越えた場合、その分を支給します。
- ②同一世帯で月に三万円以上を二回以上、合わせて六万三千六百円を越えて支払つた場合、その分を支給します。
- 2 出産育児一時金
加入者の出産時に三十万円を支給します。
- 3 葬祭費
加入者が死亡し、葬祭を行った際、七万円を支給します。
- 4 療養費
次のような場合に医療費を

次のような場合に医療費を

全額負担した場合、後に診査し、七割相当額を支給します。

① 医師の指示により、あんま、はり灸などを受けた時

② 輸血のための血液代

③ 医師が必要と認められたコルセツト、ギブスなど

④ 保険証を持たずに治療を受けた場合

⑤ 医師が必要と認められた重病人の移送時の車代



こころ豊かなたくましい

人間性の育成と

住民が主体的な生涯学習を

平成八年度の教育委員会の目標は、豊かな心を持ったたくましい児童、生徒を育成し、自ら学ぶ意欲を高め、生涯にわたって学び続けるための基礎を培う教育の充実と、健康でたくましい体力づくりと生きがいのある社会をめざし、時代変化に対応できる学習環境づくりの実現に努めています。

各小学校にパソコンを導入し、視聴覚教育を促進して時代に則した教育を進めています。また、中国南京少年宮と各

5人間ドック助成

加入者が年一回ドックを利用した場合、最高で七万円の助成を支給します。

異動時は届け出を

国保の異動の届出は、十四日以内にしましょう。届出が遅れますと保険税を遡って納めることとなります。

報償金のもらえる、便利でお得な口座振替をご利用ください。

小学校の絵画、書道、作文等の交換が行われ、日中友好親善に貢献しています。

学校を開放して、文化・芸術・スポーツなどの活動に開かれた学校づくりに努力しております。

中学校は「県指定の福祉教育推進校」として研究を進めています。また、各小学校も社会福祉協議会と連携して高齢者とのふれあい学習、老人ホームの訪問などが行われています。

環境教育として、各小学校五年生を中心に農林水産課と協力し、田植え・稲刈り・収穫祭・餅つき大会等生活体験・自然体験学習を毎年実施しています。

千葉県教育委員会は専修学校・大学が有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化・高度化・専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するため「県民カレッジ」を実施しています。城西国際大学は地域社会に貢献し、「平成八年度城西国際大学千葉県民カレッジ」を御宿で開講しました。多数の住民の皆さまがこの良い機会に参加

できました。

今年度、新たに家庭教育指導員を設置して、家庭教育相談に対応しています。ご活用をお願いします。

教育は人づくり、人づくりがまちづくりに発展するよう努めます。

御宿中学校

御宿中学校では、新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた、人間性豊かな生徒の育成を教育目標に掲げ、全教育活動を通して、その目標達成に努めています。

生徒は皆明るく、素直で学習や部活動によく努力しております。今年度は部活動では陸上部、卓球部が県大会に出場することができました。各部活動も新しく二年生中心に毎日練習に励んでいます。また文化部においても、作文、パソコン、吹奏楽などそれぞれ

の分野で、自分の個性や特性を十分発揮し、着実に成果をあげています。

また本校では、今年度より三カ年にわたり、千葉県より福祉教育研究校として指定を受け、「意欲をもって、主体

的に活動する生徒の育成」一福祉教育を通して一をテーマに研究推進に努めています。

九月二十八日には、生徒代表が老人ホーム「そとぼう」を訪問しボランティア活動を行い、十月十七日には、高齢者との交流会と会食会、十月二十五日には御宿高校に於て救急法や介護の実習を通して生徒代表三十名が交流授業に参加しました。この研修は、今後も継続的に積み重ねていきたいと思えます。

御宿小学校

御宿小学校では、「児童にとって楽しい学校づくり」をモットーに、教育活動を推進しています。

(1)わかる授業の実践

児童一人一人の理解の度合いやつまづきを掌握し、「発見の喜びや感動」、「疑問や課題の発生」、「わかったこととの満足感」といった、児童個々の心を揺さぶる学習の組み立ても継続して行っています。その結果、学習意欲が高まり、自分の考えを積極的に発言したり、個性豊かな作品を仕上げる児童が多く見られ

るようになってきました。

(2) 子どもへのあつき眼差し

いじめや不登校等、子どもの心の渇きが原因と考えられる問題については、学校の組織をフルに活用して教職員全員で取り組んでいます。児童や家庭と担任の信頼関係の確立は勿論のこと、二百六十二名の児童一人一人を、全教職員が共通理解の上で支援し、見守ることは容易なことではありませんが、楽しい学校づくりには欠かせないことなので、子どもへの対応は、いつも「熱き・厚き眼差しで」を心掛けています。

(3) 動き始めた子どもたち

継続して行っている、地域やお世話になった方との「ふれあい給食」、「特別養護老人ホームへの訪問」、ミニ動物園（わくわくランド）での「飼育活動」等で、子ども達とは、相手に対する対応の仕方というものを徐々に体得してきているようです。さらに、このような実践活動を通して、子ども達自らが考えたことが少しずつ実践できるように変容してきたことに、大きな喜びを感じています。

最後に、楽しい学校づくりの主役は子ども達であることを忘れないようにして、日々の教育活動が明日へつながるようにしていきたいと思えます。

岩和田小学校

岩和田小学校では、学校教育目標の基本目標として「新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた人間性豊かな児童の育成と、生涯学習の基礎づくりをめざす」を掲げて学校教育の推進に努めています。そして、具体目標の「めざす児童像」は、○よく考え進んで学ぶ子供、○思いやりのある温かい子供、○健康で明るい子供、○たくましく粘り強い子供、○郷土を愛する子供の五つです。

今年、昨年来の牛乳パックの回収・空き缶の回収に加え、「ベルマークの収集」を保護者とともに行い、リサイクル教育もより強力に推進しています。小さいものでもみんなで力を合わせれば大きいものになり、やがて、自分たちや他の友だちの学習に役に立つことになることを身を持

って学習しています。飼育・栽培活動では、ウサギの赤ちゃんの誕生を心から喜び、祝い、毎日、大切に育てています。思いやりのある温かい子供が着実に育っています。

「表現力を高める国語学習の工夫」を研究主題とした校内研修は、二年目となりました。授業の中で、「紙芝居」「劇」「絵本づくり」などを通して、表現力を高めています。校内朗読会では、素晴らしい発表をしました。児童も大変自信が持ったようです。

布施小学校

布施小学校では、新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた人間性豊かな児童の育成を目指しています。

「たくましい子」をめざし、外遊びの奨励、アスレチック施設の充実、千葉県一周マラソン等、年間通して体力づくりを実施しています。

また、「意欲的に学習に取り組む子どもの育成」をめざし国語の研究を通して主体的に学習する能力や表現力の育成に取り組み、あらゆる学習に生かせるようにしています。

一方、地域ぐるみの教育体制も本校教育をより充実したものにしています。特に、「稲作りや収穫祭（もちつき・おまつり）」、「たこづくり」等の地域の方々とのふれあい体験を通して、感謝の気持ち



親しみのあふ

生活学習の

場をめざして

公民館は、町民の皆さんに最も身近な社会教育施設として又、自発的な活動に促されるため、各教室・自主グループ活動等、町民に密着した事業の推進に努めています。

今日、変化の激しい社会にあつて、人々は心豊かな充実した人生を送っていくため、適切かつ豊かな学習の機会を求めております。

これらの学習は、各人が自発的に自己に適した手段・方法を選んで、生涯を通じて行うもので生涯学習の拠点である公民館では、次のような目標を掲げ運営しています。

○地域公民館として、地域の人々や団体、クラブ等の意

や楽しさを体感できました。さらに、牛乳パックや空き缶回収、ベルマーク収集のりサイクル活動は物を大切にする心・自然を愛する心を育む教育として、今年度も取り組んでいます。

見を反映し、住民参加の公民館運営を推進する。

○スポーツ・レクリエーション活動を助長し、住民の体力向上を図り、健康で明るい町づくりに寄与することを目的に、社会体育施設を無料開放する。

○社会教育諸団体の育成を助長すると共に、連携を密にし、公民館活動の円滑を図る。

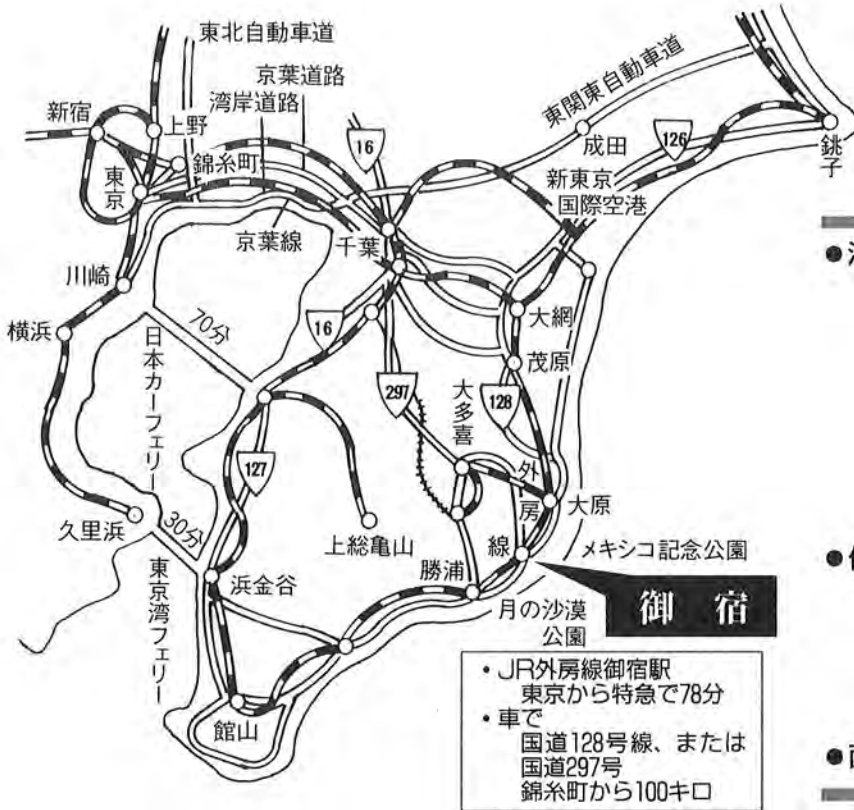
○図書室の充実を図り、読書の普及に努める。

これらの目標を達成するため、各種事業の展開方法を模索しながら、「人と人との出会いを大切に」を念頭に事業を推進していきます。

数字でみる

おんじゆくのすがた

資料編



●沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。
その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。

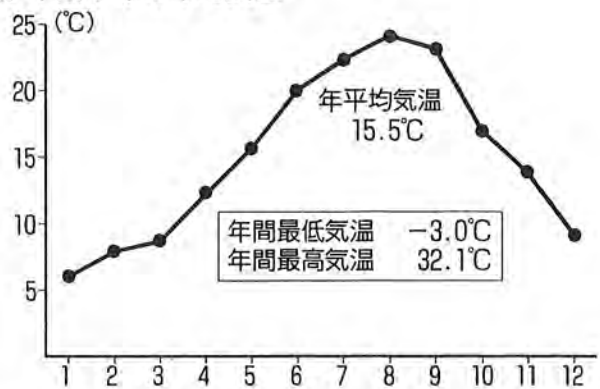
●位置……御宿町は千葉県の東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。東経140度21分23秒。北緯35度11分2秒の地点にある。

●面積……25.05km²

※ 年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
平成7年	15.5	19.3	12.2	1646.0

※ 平成7年の平均気温



※ 平成7年の月別気温・降雨量

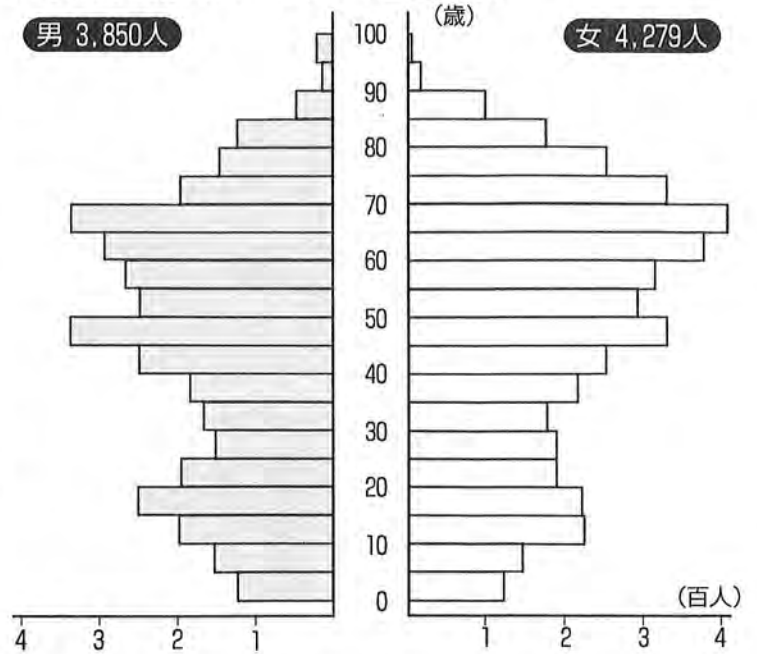
区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	6.9	6.4	9.2	14.3	18.0	19.8	23.6	26.0	22.3	19.1	12.9	8.0℃
最高	18.9	15.2	18.7	19.8	24.3	25.5	32.1	31.2	31.2	26.5	21.7	18.1℃
最低	-3.0	-0.2	1.1	3.1	11.4	13.7	19.2	21.2	14.4	12.5	3.6	-2.4℃
降雨量	40.5	50.5	197.5	152.5	314.5	236.5	109.5	1.5	338.5	124.0	61.5	17.0mm

※ 行政区別世帯数と人口

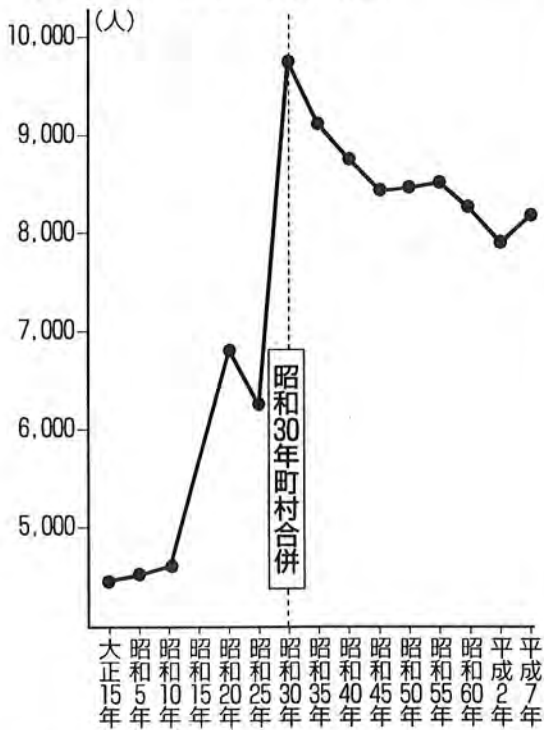
(8.12.1)

区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	348	441	465	906
浜	259	366	405	771
高 山 田	92	148	152	300
久 保	451	573	684	1,257
新 町	461	615	680	1,295
六 軒 町	232	319	324	643
岩 和 田	454	714	760	1,474
実谷七本	137	246	251	497
上 布 施	221	362	371	733
御 宿 台	286	236	294	530
合 計	2,941	4,020	4,386	8,406

※ 5歳階級別人口（平成7年国勢調査）



※ 人口の動き（国勢調査）



※ 人口の推移（国勢調査）

年 次	世帯数	人 口			1世帯平均人員	人口密度 人/km ²
		総 数	男	女		
大正15年	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330
平成 2	2,469	7,939	3,763	4,176	3.2	317
7	2,659	8,129	3,850	4,279	3.1	325

※ 人 口 動 態

年 度	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和30年	184	74	110	19	68	9	484	784	△300
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△132
50	114	94	20	9	208	13	322	379	△ 57
60	60	81	△21	4	45	8	319	351	△ 32
平成7年	59	86	△27	3	31	10	387	303	84

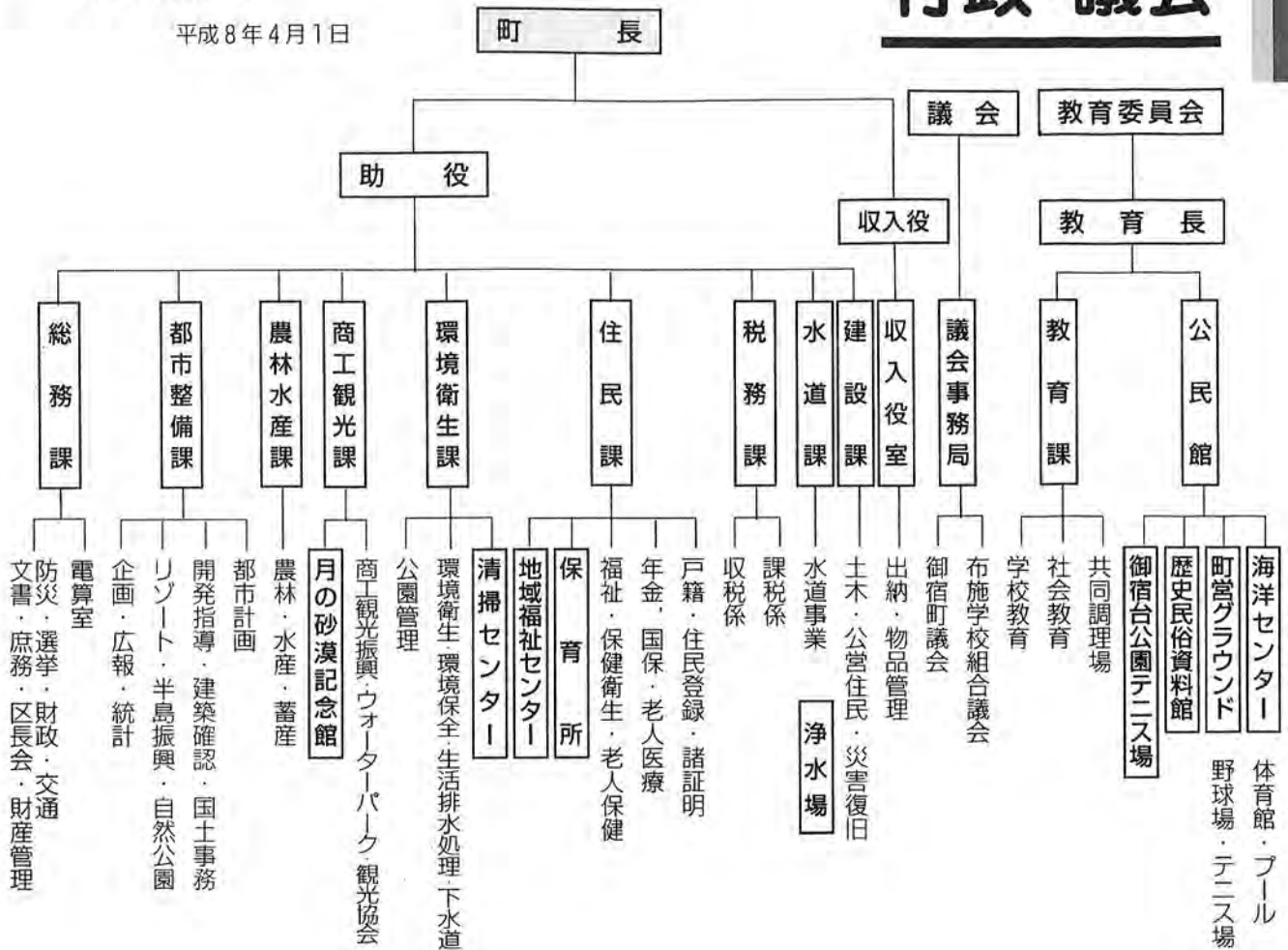
自然
人口

✦ 行政組織の状況

機構組織図

平成8年4月1日

行政・議会



✦ 議 会

- 議員定数16人 (法定数22人)
- 常任委員会
 - ・総務常任委員会 (6)
 - ・産業建設常任委員会 (5)
 - ・教育民生常任委員会 (5) ()内委員数

✦ 議会の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請陳件	願情数
	回数	会期	町長提案 出議案	議員提案 出議案	回数	会期	町長提案 出議案	議員提案 出議案		
元	4	11	42	2	6	6	9	3	4	
2	4	10	45	5	5	5	13	0	8	
3	4	10	56	3	5	5	8	0	6	
4	4	11	53	6	1	1	2	0	1	
5	4	11	44	8	2	2	2	0	2	
6	4	10	55	7	4	4	7	0	16	
7	4	10	39	5	2	2	13	0	10	

✦ 課別職員数

(8.12.1)

課室名	職員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	14	9	5
都市整備課	4	4	
建設課	6	6	
農林水産課	4	4	
住民課	12	4	8
税務課	8	6	2
商工観光課	4	4	
水道課	5	4	1
環境衛生課	11	10	1
農業委員会	1	1	
議会事務局	3	2	1
教育委員会	3	2	1
公民館	6	5	1
歴史民俗資料館	0		0
保育所	19		19
調理場	7		7
合計	109	62	47
社会福祉協議会	5	3	2

* 歴代議長（町村合併後）

氏 名	就任年月日	退任年月日
吉野 要	昭和30.3.31	昭和32.9.30
浅野 航海	◇ 32.10.1	◇ 34.9.30
新井 清治	◇ 34.10.1	◇ 40.9.30
関 龍雄	◇ 40.10.1	◇ 44.9.30
中村 喜一	◇ 44.10.11	◇ 48.10.31
江沢富士松	◇ 48.12.4	◇ 50.9.30
岩崎栄一郎	◇ 50.10.1	◇ 54.9.30
石田 行雄	◇ 54.10.1	◇ 56.9.30
井上 泰爾	◇ 56.10.1	◇ 58.9.30
井上 浩一	◇ 58.10.1	◇ 60.3.12
白鳥 時雄	◇ 60.4.16	◇ 62.9.30
関野 正治	◇ 62.10.1	平成元年9.21
佐藤 高二	平成元年9.21	◇ 3.9.30
君塚 秀雄	◇ 3.10.1	◇ 5.9.21
岡村 甲純	◇ 5.9.21	◇ 7.9.30
鶴岡 清二	◇ 7.10.1	在任中

* 投票区別有権者数

(7年9月現在)

区分	地 区	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,642	1,205	1,437
第2投票区	須賀・浜・高山田・御宿台	2,162	1,018	1,144
第3投票区	岩和田	1,211	573	638
第4投票区	上布施	585	275	310
第5投票区	実谷・七本	409	198	211
総 数		7,009	3,269	3,740

* 最近の選挙における投票状況

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
参議院議員選挙	H元.7.23	6,382	2,982	3,400	3,839	1,810	2,029	60.15	60.70	59.68
衆議院議員◇	H2.2.18	6,397	2,994	3,403	5,360	2,460	2,900	83.79	82.16	85.22
参議院議員◇	H4.8.29	6,675	3,103	3,572	3,148	1,497	1,651	47.16	48.24	46.22
県知事◇	H5.3.14	6,683	3,113	3,570	3,249	1,500	1,749	48.62	48.19	48.99
衆議院議員◇	H5.7.18	6,757	3,150	3,607	4,739	2,189	2,550	70.13	69.49	70.70
町 長◇	H6.3.13	6,762	3,156	3,606	5,921	2,719	3,202	87.56	86.15	88.80
参議院議員◇	H7.7.23	6,901	3,228	3,673	3,279	1,545	1,734	47.51	47.86	47.21
町議会議員◇	H7.9.24	6,899	3,228	3,671	6,218	2,885	3,333	90.13	89.37	90.79
小選挙区選出議員選挙	H8.10.20	7,003	3,265	3,738	4,412	2,039	2,373	63.00	62.45	63.48
比例代表区◇	◇	7,003	3,265	3,738	4,409	2,037	2,372	62.96	62.39	63.46
最高裁国民審査	◇	7,003	3,265	3,738	4,319	1,994	2,325	61.67	61.07	62.20

※平成3年(4月)県議会議員選挙、(4月)町長選挙、(9月)町議会議員選挙は無投票

* 歴代町長

歴代	氏 名	就任年月日	退任年月日
町長職務(執行者)	大地 重直	昭和30.3.31	昭和30.5.15
1	井上文吉	◇ 30.5.16	◇ 42.5.14
2	岩井敏夫	◇ 42.5.15	◇ 54.5.14
3	高梨秀治	◇ 54.5.15	◇ 62.5.14
4	滝口栄蔵	◇ 62.5.15	平成6.1.25
5	伊藤治昌	平成6.3.13	在任中

* 歴代助役

歴代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和30.10.18	昭和38.10.17
2	岩井敏夫	◇ 39.1.10	◇ 42.4.17
3	佐藤清司	◇ 42.12.20	◇ 45.10.31
4	浅野興典	◇ 47.4.1	◇ 54.5.14
5	池田覚道	◇ 55.3.1	◇ 62.5.14
6	大谷良司	◇ 62.6.15	平成7.6.14
7	加藤 長	平成7.6.15	在任中

* 歴代収入役

歴代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和29.2.13	昭和30.10.17
2	佐藤清司	◇ 30.10.18	◇ 42.12.19
3	浅野興典	◇ 42.12.20	◇ 47.3.31
4	和田正美	◇ 47.4.1	◇ 54.5.14
5	岩瀬 剛	◇ 54.7.1	◇ 62.5.14
6	吉田庸二	◇ 62.6.15	在任中

＊平成7年度 一般歩歳出決算

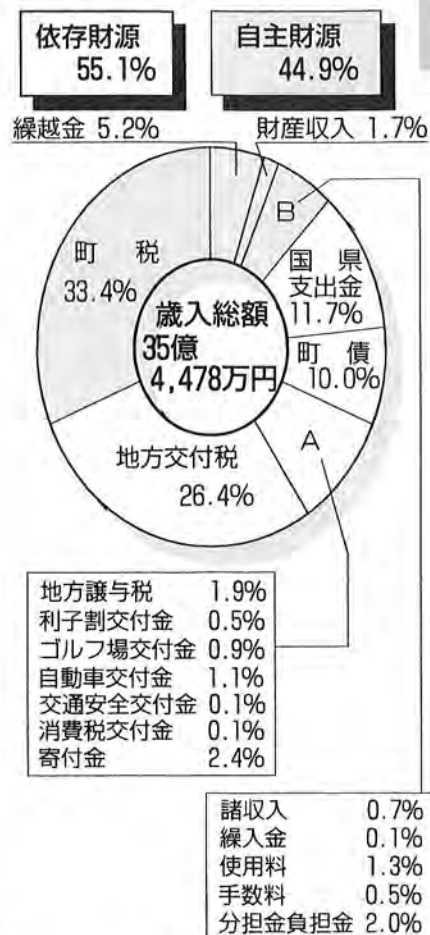
歳 入

(単位：千円)

科 目	平成7年度		平成6年度		比 較	
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	①-②③	③/②
1. 町 税	1,182,191	33.4	1,109,957	31.0	72,234	6.5
2. 地方譲与税	68,992	1.9	67,284	1.9	1,708	2.5
3. 利子割交付金	17,453	0.5	23,438	0.7	△5,985	△25.5
4. ゴルフ場交付金	31,182	0.9	20,208	0.6	10,974	54.3
5. 消費税交付金	2,676	0.1	3,299	0.1	△623	△18.9
6. 自動車交付金	38,992	1.1	36,171	1.0	2,821	7.8
7. 地方交付金	936,052	26.4	1,041,161	29.1	△105,109	△10.1
内 普 通	852,644	24.1	959,203	26.8	△106,559	△11.1
訳 特 別	83,408	2.3	81,958	2.3	1,450	1.8
8. 交通安全特別 対策交付金	1,822	0.1	1,980	0.1	△158	△8.0
9. 分担金負担金	69,885	2.0	64,882	1.8	5,003	7.7
10. 使 用 料	46,970	1.3	50,894	1.4	△3,924	△7.7
11. 手 数 料	17,631	0.5	16,574	0.5	1,057	6.4
12. 国庫支出金	156,744	4.4	130,029	3.6	26,715	20.5
13. 県 支 出 金	258,281	7.3	229,373	6.4	28,908	12.6
14. 財 産 収 入	59,986	1.7	38,399	1.1	21,587	56.2
15. 寄 附 金	85,308	2.4	81,742	2.3	3,566	4.4
16. 繰 入 金	4,435	0.1	33,755	0.9	△29,320	△86.9
17. 繰 越 金	186,076	5.2	179,789	5.0	6,287	3.5
18. 諸 収 入	25,503	0.7	37,044	1.0	△11,541	△31.2
19. 町 債	354,600	10.0	413,300	11.5	△58,700	△14.2
合 計	3,544,779	100.0	3,579,279	100.0	△34,500	△1.0

財 政

＊平成7年度一般会計
歳入財源別構成比



＊平成6年度住民負担の状況

町民1人当たり・円

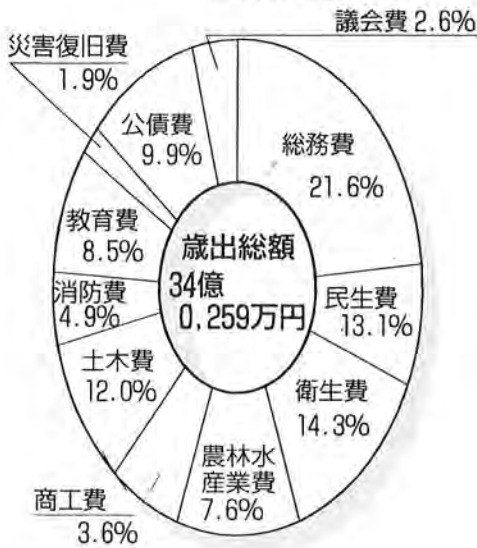
町民税  42,984円	町たばこ税  5,590円
固定資産税  81,399円	入湯税  103円
軽自動車税  886円	特別土地保有税  8,790円

＊町税負担状況の推移

年度	町税総額 千円	一世帯当り 負担額 円	一人当り 負担額 円
30	13,618	6,753	1,396
35	15,166	7,408	1,635
40	27,435	13,266	3,112
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
平成2	903,012	336,317	108,365
6	1,109,957	389,322	132,169
7	1,182,192	403,464	139,752

(滞納繰越金、国などから交付される
固定資産税を除く)

※平成7年度一般会計
目的別歳出決算

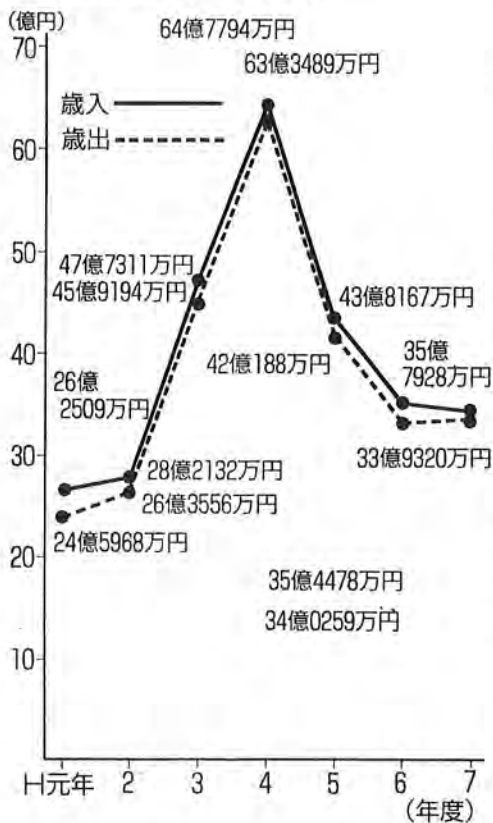


※平成7年度一般会計性質歳出決算
〔目的別歳出〕

(単位: 千円)

科目	平成7年度		平成6年度		比較	
	決算額①	増減率	決算額②	増減率	①-② ③	③/②
1. 議会費	86,844	2.6	87,000	2.5	△156	△0.2
2. 総務費	736,639	21.6	684,745	20.2	51,894	7.6
3. 民生費	445,522	13.1	399,803	11.8	45,719	11.4
4. 衛生費	487,830	14.3	512,073	15.1	△24,263	△4.7
5. 農林水産業費	257,602	7.6	212,356	6.2	45,246	21.3
6. 商工費	122,686	3.6	343,405	10.1	△220,719	△64.3
7. 土木費	407,448	12.0	359,349	10.6	48,099	13.4
8. 消防費	165,804	4.9	203,073	6.0	△37,269	△18.4
9. 教育費	289,621	8.5	270,542	8.0	19,079	7.1
10. 災害復旧費	65,699	1.9	19,983	0.6	45,716	228.8
11. 公債費	336,894	9.9	300,854	8.9	36,040	12.0
合計	3,402,589	100.0	3,393,203	100.0	9,386	0.3

※一般会計決算額の推移



〔性質別歳出〕

(単位: 千円)

科目	平成7年度		平成6年度		比較	
	決算額①	増減率	決算額②	増減率	①-② ③	③/②
1. 消費的経費	2,202,056	64.7	2,141,178	63.1	60,878	2.8
(1) 人件費	827,899	24.3	781,304	23.0	46,595	6.0
(2) 物件費	207,748	14.9	463,347	13.6	44,401	9.6
(3) 維持補修費	3,107	0.1	2,333	0.1	774	33.2
(4) 扶助費	112,146	3.3	95,620	2.8	16,526	17.3
(5) 補助費等	537,967	15.8	619,960	18.3	△81,993	△13.2
(6) その他(積立金等)	213,189	6.3	178,614	5.3	34,575	19.4
2. 投資的経費	783,404	23.0	883,022	26.0	△99,618	△11.3
(1) 普通建設事業	717,705	21.1	863,039	25.4	△145,334	△16.8
(2) 災害復旧事業	65,699	1.9	19,983	0.6	45,716	228.8
3. 公債費	336,714	9.9	300,717	8.9	35,997	12.0
4. 繰出金	80,415	2.4	68,286	2.0	12,139	17.8
合計	3,402,589	100.0	3,393,203	100.0	9,386	0.3

※財政の変遷 (普通会計)

(単位: 千円)

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力指数
		歳入	歳出	差引残高				
元	2,233,016	2,625,089	2,459,680	165,409	1,336,938	608,431	809,599	0.486
2	3,053,175	2,821,324	2,635,562	185,762	1,554,109	765,990	871,218	0.474
3	4,641,891	4,773,109	4,591,935	181,174	1,623,468	864,033	841,958	0.493
4	6,402,248	6,477,940	6,334,892	143,048	1,787,485	969,759	942,084	0.523
5	4,052,000	4,381,667	4,201,878	179,789	2,017,532	1,038,088	1,059,961	0.530
6	3,338,000	3,579,279	3,393,203	186,076	1,956,160	993,790	1,041,161	0.522
7	3,160,000	3,544,779	3,402,589	142,190	1,894,741	1,030,544	936,052	0.522

※平成7年度会計別決算

(単位：円)

会 計	区 分	予 算 額	決 算 額
一 般 会 計	歳 入	3,566,745,000	3,544,778,991
	歳 出	3,566,745,000	3,402,589,477
	差 引 残 額	0	142,189,514
国民健康保険 特 別 会 計	歳 入	702,080,000	760,084,174
	歳 出	702,080,000	636,764,019
	差 引 残 額	0	123,320,155
老 人 保 険 特 別 会 計	歳 入	765,835,000	746,770,236
	歳 出	765,835,000	742,157,035
	差 引 残 額	0	4,613,201
総 合 計	歳 入	5,034,660,000	5,051,633,401
	歳 出	5,034,660,000	4,781,510,531
	差 引 残 額	0	270,122,870

※水道事業会計決算 平成7年度

●収益的収入及び支出

(収 入)

(単位 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する増減
水道事業収益	233,371,000	231,929,673	1,441,327
営業収益	176,294,000	173,875,143	2,418,857
営業外収益	57,077,000	58,054,530	977,530

(支 出)

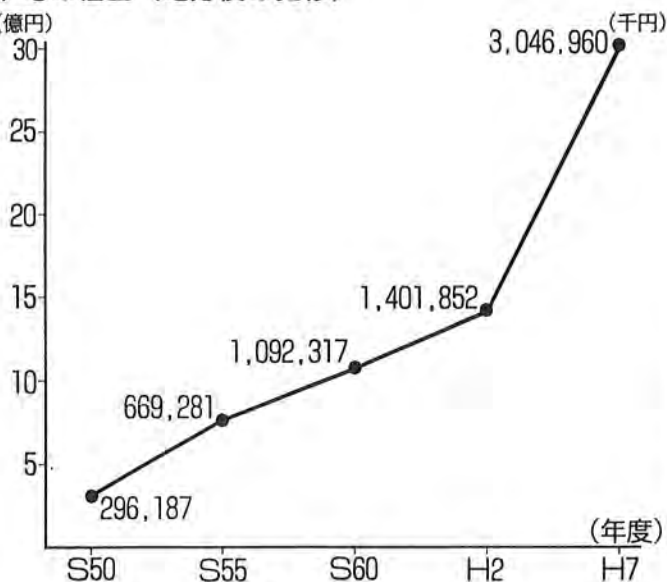
(単位 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不用額
水道事業費用	228,306,000	223,619,294	4,686,706
営業費用	193,873,000	189,186,640	4,686,360
営業外費用	34,433,000	34,432,654	346
予 備 費	0	0	0

(消費税込み)

※町の借金（地方債の推移）

(億円)



※町有財産

平成8年3月31日現在

土 地 787,818m ²	
建 物 32,505m ²	
出資による権利 3,006万円	
土地開発基金 預 金 2,520万円 預託金 3,980万円	
財政調整基金 1億3,496万円	
減債基金	7,623万円
地域福祉基金	3,084万円
開発基金	173万円
国民年金印紙購入基金	600万円
し尿収集手数料収入証紙購入運用基金	0万円

産 業

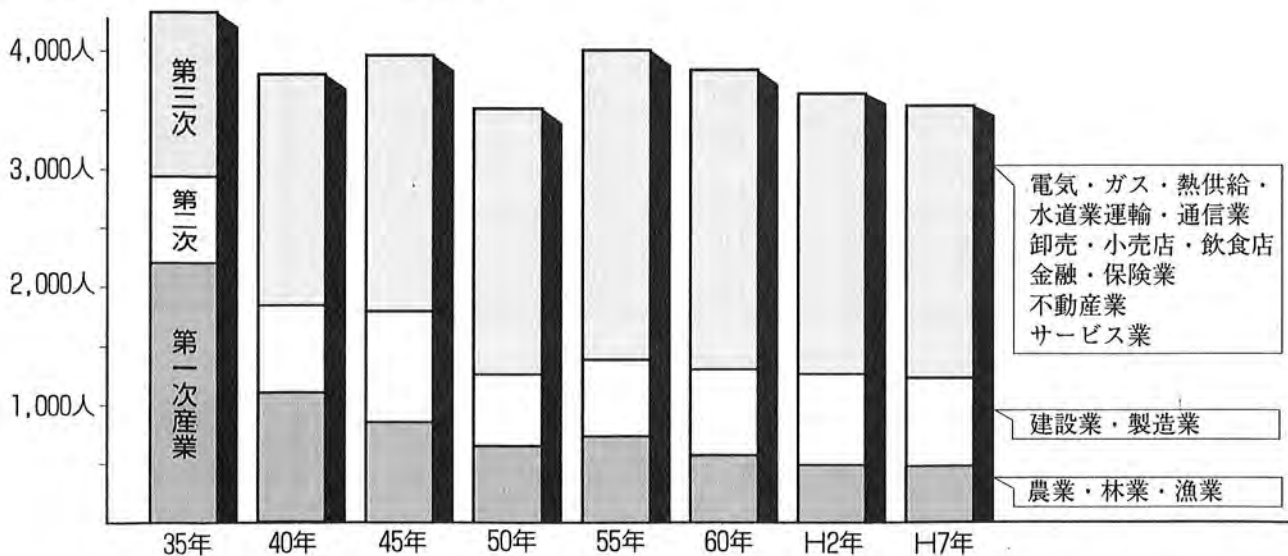
＊ 産業別就業者数

(国勢調査)

区 分	年 度 別 種 別	40 年		45 年		50 年		55 年		60 年		平成 2 年		平成 7 年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第 1 次 産 業	農業、林業、狩猟業、水産・養殖業	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4	409	10.8	387	10.5
第 2 次 産 業	鉱業、建設業、製造業	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1	1,228	32.4	1,065	28.9
第 3 次 産 業	卸小売、金融 保険業、その他	1,415	37.0	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5	2,151	56.8	2,238	60.6
計		3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0	3,788	100.0	3,693	100.0

＊ 産業別就業者数の推移

(国勢調査)



＊ 所得者別 所得金額

(単位：千円)

所得者区分	年 次	3	4	5	6	7
給 与 所 得 者		6,263,728	6,931,300	7,421,010	7,646,823	7,733,194
営 業 所 得 者		665,319	702,866	666,111	513,848	492,309
農 業 所 得 者		13,290	18,375	13,377	9,518	23,402
そ の 他 事 業 所 得 者		473,606	425,392	378,967	400,022	450,289
そ の 他 の 所 得 者		615,333	466,795	549,448	644,125	640,809
譲 渡 所 得 者		3,079,582	3,037,810	942,613	961,536	837,658
計		11,110,858	11,582,538	9,971,526	10,175,872	10,177,661

農 業

＊農家数の動き

(戸)

年度	総数	専業	第1種兼業	第2種兼業
昭和35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
平成2	340	31	16	293
7	322	32	10	280

＊農業機械所有台数

(台)

年度	動力耕うん機・農用トラクター	自脱型コンバイン	米乾麦燥用機	田植機
昭和50	398	3	305	141
55	478	113	322	210
60	501	164	311	254
平成2	64 (乗用のみ)	200	263	247
7	83 (乗用のみ)	203	246	235

＊経営規模別農家数の動き

(戸)

年度	総数	30未満 (a)	30～ 50 (a)	50～ 100 (a)	100～ 150 (a)	150以上 (a)	例外規定
昭和35	745	221	123	215	157	17	12
40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
平成2	340	39	69	146	56	28	2
7	322	46	57	133	58	26	2

＊水稻収穫面積

(単位 アール)

年度	水 稻
昭和35	33,850
40	32,835
45	28,108
50	22,549
55	19,930
60	19,357
平成2	16,727
7	15,506

＊農家の推移

年度	農家数 (戸)	増 減		農 家 人 口 (人)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世帯数 (戸)	町 総 世帯数 に対する 農家率 (%)	町 総 人 口 (人)	町 総 人口に 対する農 家人口 率 (%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						総面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	△ 64	△ 8.6	3,459	△560	△13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	△ 73	△10.7	2,882	△577	△16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	△138	△22.7	2,204	△678	△23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	△ 40	△ 8.5	1,941	△263	△11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	△ 43	△10.0	1,667	△274	△14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
2	340	△ 47	△12.1	1,413	△254	△15.2	4.2	2,679	12.7	8,337	16.9	282	217	60	4
7	322	△ 18	△ 5.9	1,310	△103	△ 7.3	4.1	2,659	12.1	8,129	16.1	249	208	37	42

漁 業

＊ 年次別組合水揚高

(単位：千円)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	5 年	6 年	7 年	5 年	6 年	7 年
魚 類	180,328	168,762	168,178	523,930	470,972	434,182
貝 類	38,649	30,962	21,648	94,896	86,254	65,123
計	218,977	199,724	189,826	618,826	557,226	499,305

＊ おもな魚種別水揚量

(単位：トン)

魚 種 別	御 宿			岩 和 田		
	5 年	6 年	7 年	5 年	6 年	7 年
た い	2	0	6	4	1	0
わ ら さ	0	0	0	0	0	3
ひ ら め	2	2	3	12	15	16
ぶ り	0	0	0	0	0	11
い か	126	130	84	313	267	139
か つ お	125	62	120	327	164	304
い な だ	0	0	0	33	3	8
め じ	4	13	13	16	35	30
ま ぐ ろ	3	1	5	6	2	2
さ よ り	3	2	3	0	0	0
あ わ び	1	2	1	6	9	7
さ ざ え	12	10	7	23	16	7
雑 魚	9	13	13	13	23	11
い わ し	0	0	0	0	0	0
え び	2	2	1	9	8	6
計	289	237	256	762	543	544

＊ 漁港施設 (平成7年)

項 目		御 宿	岩和田
漁	けい船岸延長 (m)	485	759
	外かく施設延長 (m)	685	1,021
	最大入港トン数 (t)	20	9
港	登録漁船隻数 (隻)	65	145
	利用漁船隻数 (隻)	75	152

＊ 漁業協同組合の状況

(H. 7. 9 現在) (人)

組 合	御 宿		岩 和 田	
	平成7年	平成8年	平成7年	平成8年
正組合員	106	105	441	438
準組合員	74	72	14	20
計	180	177	455	458

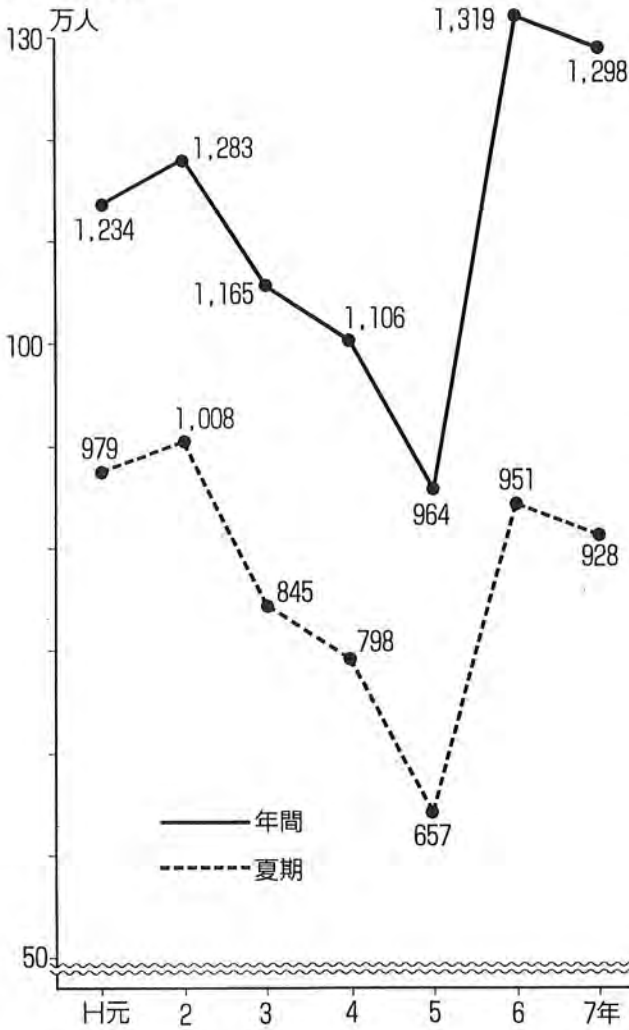
＊ 漁業種類別水揚量

(単位：トン)

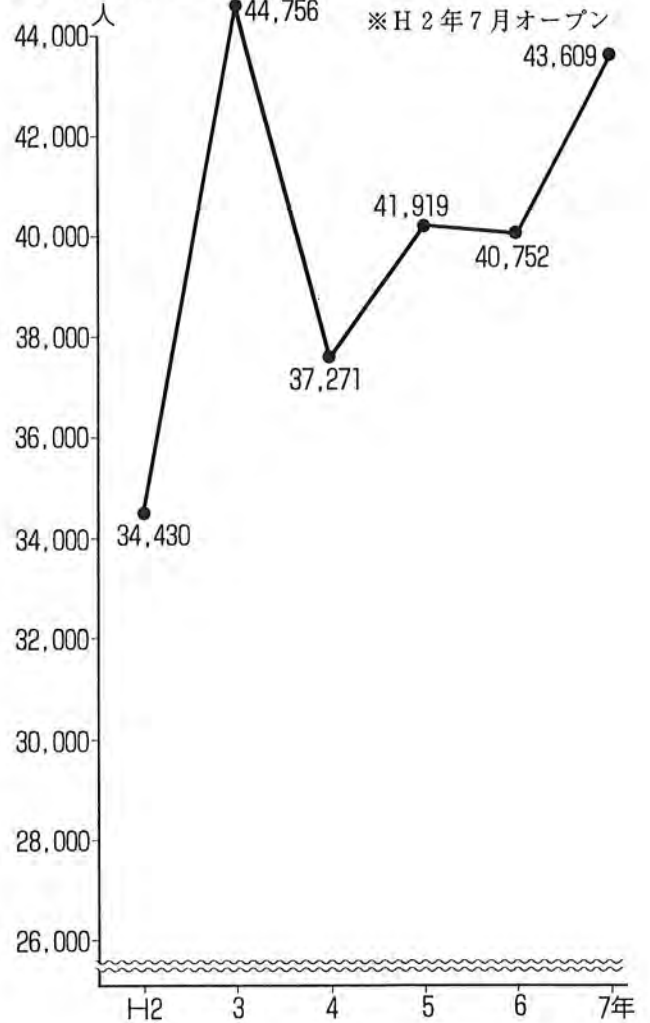
種 類	御 宿			岩 和 田		
	5 年	6 年	7 年	5 年	6 年	7 年
ま き 網	0	0	7	0	0	0
刺 網	10	10	3	65	32	16
い か 釣	126	130	84	313	267	139
その他の釣	142	85	139	367	224	397
採 貝	7	7	5	17	17	9
採 藻	0	0	0	0	0	0
その他の業	4	5	0	0	3	9
総 計	289	237	238	762	543	570

観 光

※ 観光客数



※ 月の沙漠記念館の入場者数



※ 観光施設及び入込数

区 分 \ 年 度		40 年	45 年	50 年	55 年	60 年	2 年	6 年	7 年
観光客数 (人)	夏期	344,000	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	1,008,000	951,000	928,000
	年間	396,000	1,310,000	311,000	1,041,000	1,659,000	1,283,000	1,319,000	1,298,000
旅 館 (軒)		8	20	21	17	17	23	20	21
民 宿 (軒)		51	200	250	270	244	240	235	215
海 の 家 (軒)		26	33	32	32	31	29	28	26
駐 車 台 数 (有料)		1,307	12,512	15,151	18,018	31,346	36,993	33,772	36,170
観 光 収 入 (推計千円)		249,300	369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	3,831,600	4,335,850	4,260,350
町 の 観 光 投 入 額 (千円)		4,230	56,000	12,504	20,968	30,434	57,511	39,749	49,844

商 工 業

※ 工業（製造業）の状況

年	事業所数	従業者数	年間製造品 出荷額
	戸	人	百万円
昭和50	49	615	1,287
60	35	489	2,259
平成2	28	376	2,054
5	25	302	1,590

※ 商業の状況

(H 6. 7月現在)

産業中分類	項目	商店数	従業者数	年間商品 販売額	売場面積
		店	人	百万円	m ²
卸 売 業 計		15	61	1,852	—
繊維、衣服、身の 回り品小売業		10	33	355	1,554
飲食料品小売業		54	243	4,650	4,591
自動車、自転車、 小 売 業		4	9	92	373
家具、建具、じゅ う 器 小 売 業		19	57	587	1,236
そ の 他 小 売 業		36	157	2,366	2,018
小 売 業 計		123	499	8,050	9,772
計		138	560	9,902	9,772

交 通

※ 自動車保有台数

(8 . 4 . 1)

車 種	御 宿 町
普通乗用車	494
小型乗用車	1,920
貨物自動車	249
貨客兼用車	201
バ ス	13
軽自動車 (4輪)	1,250
特殊用途車	11
計	4,138

※ 交通事故発生件数の推移

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
元		56	0	90
2		49	0	78
3		55	0	84
4		56	0	84
5		56	3	76
6		44	1	78
7		30	3	46

建設

＊ 建築届出件数の推移

年	区分 住宅	専用 住宅	旅館店 舗簡易 宿泊所	共同 住宅	併用 住宅	工場 倉庫	その他	計
		101	6	4	6	4	12	133
2		153	7	0	11	5	12	188
3		176	8	3	4	1	12	204
4		91	7	0	15	5	9	127
5		68	3	0	9	4	4	88
6		99	3	1	2	2	10	117
7		90	3	2	1	2	6	104

＊ 林道の現況

項 目		本 数	数 値
林 業 施 設	林道延長 (m)		
	市 町 村	13	11,978m
	国 有	—	—
	そ の 他	—	—
	計	13	11,978

＊ 町道の内訳

(8.4.1)

項 目		数 値
道	実 延 長 (m)	253,413
	路 面 面 積 (m ²)	825,456
	改 良 済 延 長 (m)	76,068
	舗 装 済 延 長 (m)	95,120
	自動車交通不能道延長 (m)	127,378
	歩 道 延 長 (m)	8,872
	防 護 柵 延 長 (m)	6,844
	歩 道 橋 (m)	2カ所 27
路	市町村道と鉄道との交差箇所数	7
	うち立体交差箇所数	5

実延長の内訳	1.5m～5.5m (m)	234,661
	5.5m以上 (m)	18,752
	計	253,413

＊ 道路の現況

(8.4.1)

			単 位	町 道	県 道	国 道	計	
路 線 数	実 延 長	本	1,463	4	1	1,468		
		m	253,413	11,233	3,939	268,585		
内 訳	改 未 改 良 延 長	m	76,068	11,203	3,939	91,210		
		m	177,345	30	—	177,375		
種 類 別 内 訳	橋 梁 延 長 隧 道 延 長	m	91カ所 539	8カ所 117	1カ所 14	670		
		m	8カ所 438	1カ所 71	5ヶ所 351	860		
幅 員 別 内 訳	改 良 済	13 m 以 上	m	34	11	—	45	
		5.5 m 以 上	m	18,718	8,074	3,717	30,509	
		5.5 m 未 満	m	57,316	3,119	222	60,657	
	未 改 良	5.5 m 以 上	m	—	—	—	—	
		3.5 m 以 上	m	—	—	—	—	
		3.5 m 未 満	m	177,345	30	—	177,375	
自 動 車 交 通 不 能		m	127,378	—	—	127,378		
路 面 別 内 訳	未 舗 装 道		m	158,293	—	—	158,293	
	舗 装 道	セ メ ン ト 系	m	4,405	85	351	4,841	
		ア ス フ ァ ル ト 系	高 級	m	—	7,892	3,588	11,480
			簡 易	m	90,715	3,257	—	93,972
		計		m	95,120	11,234	3,939	110,293

防 災

✳ 消火栓の設置場所

No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区
1	鶴岡 実	須賀	37	松崎 勤 (太子堂面)	久保	73	嶋村 敏夫	岩和田
2	伊藤 治助	〃	38	スナック樹里入口	〃	74	江沢 利一	〃
3	神定 建設倉庫	〃	39	B & G 海洋センター	〃	75	専修大学セミナーハウス	〃
4	本吉 勇	〃	40	遠藤 智子	〃	76	木原 政吉	〃
5	佐伯 進	〃	41	ウエムラカメラ	〃	77	吉田 征夫	七本
6	渡辺 治男	〃	42	秋葉 正雄	新町	78	吉野 茂男	〃
7	須賀 三ツ角	〃	43	滝口 松蔵	〃	79	君塚 芳男	実谷
8	滝口 清次郎	〃	44	伊藤 勘助	〃	80	君塚 俊成	〃
9	日高 五郎	〃	45	新井 勝	〃	81	実谷上公会堂	〃
10	中央海岸駐車場料金所	〃	46	鶴岡石材店	〃	82	吉野 茂夫	〃
11	三上 信雄	〃	47	水谷 印刷	〃	83	君塚 静男	〃
12	露崎 英三	〃	48	理谷 つばき	〃	84	吉野 栄	〃
13	鶴岡 國雄	〃	49	熊谷 喜六 (天の守)	〃	85	吉野 武男	〃
14	元湯 温泉	浜	50	岩瀬 菌科	〃	86	吉野 こう	〃
15	式田 みつ	〃	51	鈴木 巖	〃	87	吉野 健夫	〃
16	大谷 福蔵	〃	52	井上 邦彦	〃	88	石井 芳清	上布施
17	渡辺 松一	〃	53	松下 弘秀	六軒町	89	吉野 進一	〃
18	松本 君江	〃	54	幸保 常次	〃	90	元大地病院	〃
19	米本良司海岸店	〃	55	板垣 雅則	〃	91	三輪篤子(グリーンランド)	〃
20	浜海岸案内所	〃	56	鈴木 輝一	〃	92	布施 駐在所	〃
21	はまや商店	〃	57	金井 三男	〃	93	布施 小学校	〃
22	浜 天王台	〃	58	清水 禮司	〃	94	吉野 泰成	〃
23	小池 春夫入口	高山田	59	六軒町補生堂	〃	95	石井 勇	〃
24	嶋田 利定	〃	60	立石 明男	〃	96	石井 博一	〃
25	高山田区民館入口	〃	61	堺川生活排水処理施設	〃	97	井上 儀一	〃
26	峰岸 俊長	〃	62	埋田 勝弘	岩和田	98	石井 惣次	〃
27	鈴木 祐雄	〃	63	藤井 昭	〃	99	佐藤 良雄	〃
28	岩瀬 信泰	〃	64	岩井 敏夫	〃	100	吉野 菊彦	〃
29	君塚 磐雄	久保	65	小川 征	〃	101	佐藤 テルエ	〃
30	大地 寿美子	〃	66	畑 中 ち	〃	102	新井 久栄	〃
31	御宿保育所前	〃	67	水上 定雄	〃	103	佐藤 勝巳	〃
32	天津 英男	〃	68	入宿町内宿	〃	104	新井 隆	〃
33	白鳥 重和	〃	69	大野 元芳	〃	105	佐藤 一男	〃
34	御宿中踏切寄道路	〃	70	水野 八郎	〃	106	大地 和美	〃
35	斉藤利夫(南畑田)	〃	71	高梨 孝	〃	107	佐藤 高二	〃
36	オタフク綿	〃	72	氏原 忠	〃	108	渡辺 洋一	〃

✳ 消防の施設状況

(8.3.31)

✳ 災害時の非難場所

消防ポンプ車	7台	防火水そう	84カ所
水そう付ポンプ車	1台	消火栓	108カ所
小型ポンプ車	2台	防災無線戸別受信機	1,970世帯
指揮広報車	1台	〃固定系システム	27カ所

名称	所在地	電話
御宿小学校	久保2085	68-2009
御宿中学校	新町68	68-2101
岩和田小学校	岩和田1075	68-2254
岩和田青年館	〃 788	68-4392
サンドスキー場 (避難集合地)	〃 1354	
布施小学校	上布施909	68-2437
実谷区民館	実谷586	68-5970
八坂神社 (避難集合地)	須賀525	
御宿高校	久保1551	68-2911
B & G 海洋センター 体育館	〃 1135	68-4143

✳ 消防団

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1	3	15	8	9	43	166	245

✳ 火災発生件数

年次	火災件数			焼失面積 (㎡)		損害額 (千円)
	総数	建物	山林野原	その他	建物	
4	2	1	0	1	0	9
5	6	1	1	4	3	398
6	2	1	0	1	324	7,160
7	5	5	0	0	103	6,612

保 健

* 胸部検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
5	2,694人	1,585人	58.8%
6	2,719	1,549	57.1%
7	2,652	1,526	57.4%
8	2,507	1,531	61.1%

* 胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
5	2,279人	665人	29.2%
6	1,626	681	41.9%
7	1,671	640	38.3%
8	1,543	675	43.7%

* 子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
5	1,698人	406人	23.9%
6	1,672	374	22.4%
7	1,660	384	23.1%
8	1,630	367	22.5%

* 基本健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
5	1,453人	647人	44.5%
6	1,379	654	46.8%
7	1,343	634	47.2%
8	1,350	609	45.1%

* 乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
5	1,617人	414人	25.6%
6	1,751	381	21.7%
7	1,727	382	22.1%
8	1,700	377	22.2%

* 大腸がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
5	1,298人	864人	66.2%
6	1,392	902	64.8%
7	1,335	899	67.3%
8	1,266	901	71.2%

国保・年金・老保

* 国民健康保険加入者及び給付状況

種別 年度	世帯数	加入者数 (人)				医療費(町支弁額) (千円)			
		一般	退職	国保老人	合計	一般	退職	国保老人	合計
4	1,793	2,835	428	871	4,134	286,930	88,348	376,095	751,373
5	1,829	2,778	440	926	4,144	281,175	88,570	427,123	796,868
6	1,871	2,733	462	985	4,180	298,215	75,682	440,256	814,153
7	1,914	2,707	461	1,067	4,235	306,860	83,624	491,526	882,010

* 国民年金受給者の状況

種 類 別	件数・金額	件 数	金 額 (千円)
老 齢 基 礎 年 金		783	452,204
老 齢 年 金		898	383,584
通 算 老 齢 年 金		205	44,784
障 害 基 礎 年 金		31	25,755
裁 定 替 障 害 福 祉 年 金		66	62,085
旧 国 民 年 金 障 害 年 金		31	28,671
遺 族 基 礎 年 金		13	10,115
寡 婦 年 金		7	3,616
合 計		2,034	1,010,814
福 祉 年 金		80	23,397

* 老人保健加入者及び給付状況

年 度	加入者数 (人)	医療費(町支弁額) (千円)
4	1,251	529,028
5	1,317	606,626
6	1,388	646,427
7	1,473	732,372

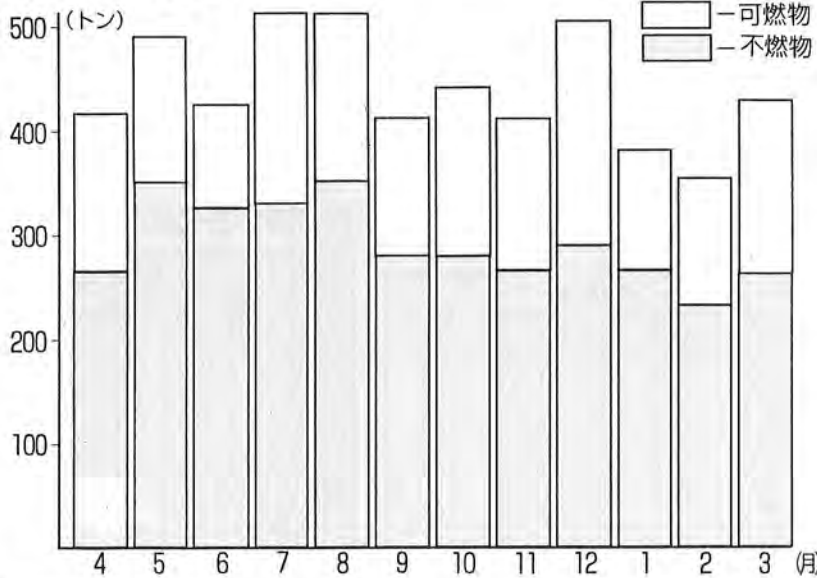
環 境

＊ゴミ収集の状況

年度	区分	可燃物	不燃物	合計	焼却日数
5		3,495	955	4,450	168
6		3,500	1,055	4,555	160
7		3,504	1,835	5,339	163

＊月別ゴミ収集量

(平成6年度)



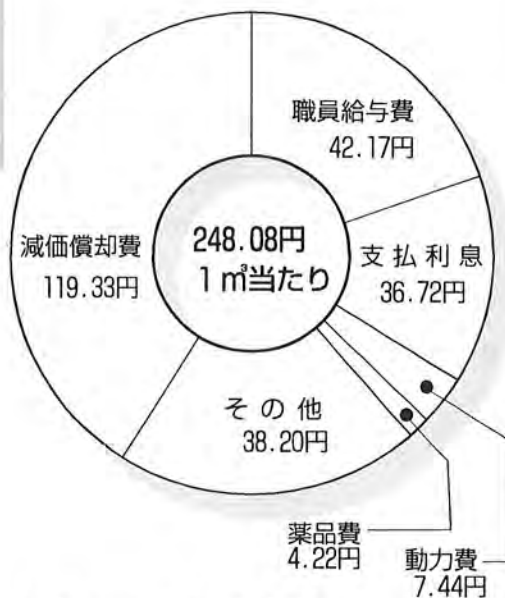
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃物	153.82	139.04	113.38	190.82	163.44	136.32	166.92	156.58	217.8	102.63	115.68	178.94
不燃物	265.74	356.44	326.8	331.68	359.4	278.86	283.2	260.24	289.04	263.24	228.02	261.34

＊し尿

(夷隅郡環境衛生組合)

1. 処理計画人口 (人)	8,451
① 非水洗化人口 (人)	3,196
(イ) 計画収集人口 (人)	3,109
(ロ) 自家処理人口 (人)	87
② 水洗化人口 (人) (浄化槽人口)	5,255
2. し尿収集の状況 (kl)	4,072
① し 尿 (kl)	1,816
② 浄化槽汚泥 (kl)	2,256
収集職員数 (人)	4
バキューム車 (台)	2

上 水 道



＊1 m³の水をつくる費用構成

＊水道ダイジェスト

(平成7年度決算から)

区 分	単位	7年度	6年度	増 減
年度末給水人口	人	6,836	6,734	102
年度末給水戸数	戸	2,848	2,752	96
年間取水量	m ³	974,590	995,599	△ 22,009
年間給水量	m ³	894,820	899,770	△ 4,950
年間使用水量	m ³	854,403	808,325	46,078
1カ月平均給水量	m ³	74,568	74,981	△ 413
1カ月平均使用水量	m ³	71,200	67,360	3,840
1日最大給水量	m ³	6,094	5,838	256
1日最大使用水量	m ³	5,819	5,254	565
1戸1カ月平均使用水量	m ³	25.0	24.5	△ 0.5
1人1日平均使用水量	ℓ	341	329	12
月平均給水収益	千円	13,141	12,622	519
給水原価	円・銭	248.08	299.81	△ 51.79
資本費	円・銭	156.20	158.92	△ 2.72
施設利用率	%	40.08	40.41	△ 0.33

✳️ 町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

(H 8. 5)

学校名	児童生徒数	学級数	職員数	事務 栄養職員	調理員	用務員
御宿中	241	8 (1)	18	1	3	
御宿小	264	12 (2)	18	2	4	
岩和田小	73	7 (1)	11	1		
布施小	126	7 (1)	11	1		
計	704	34 (5)	58	5	7	

教 育

✳️ 中学校卒業生進路状況

() はうち特殊

卒業年	高校進学		就 職		各種学校		計
	進学者数	%	就職者数	%	人数	%	
昭和35	71	51	66	48	2	1	139
45	130	72	42	23	8	5	180
50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
平成2	109	93	8	7	-	-	117
7	113	100	0	0	0	0	113
8	72	100	0	0	0	0	72

✳️ 児童・生徒数の推移

年度	児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
昭和30	2,063	1,659	404
40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
平成2	954	597	357
7	730	490	240
8	704	463	241

✳️ 社会教育施設利用状況

(人)

年度	公 民 館		資 料 館		海洋センター体育館		同 プ ール	
	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数
平成4	105.2	30,846	9.9	2,483	108	32,371	122	7,250
5	90.9	22,642	11.6	2,903	105	30,995	112	7,093
6	91.2	26,907	7.7	2,826	103	30,212	102	3,991
7	100.2	29,667	10.0	2,947	97.5	28,667	99.4	5,763

✳️ 文 化

名 称	所在地	施 設・内 容
公 民 館	久保2200	調理実習室、和室、茶室、大ホール、大・中会議室、クラブ集会室、絵画工作室、視聴覚室、図書室(蔵書約8,600冊)
歴 史 民 俗 資 料 館	久保2200	「御宿と人」「御宿とくらし」「御宿と教え」のコーナー 展示300展、五倫文庫、70カ国の教科書32,500冊
月 の 沙 漠 記 念 館	六軒町 505-1	1F 企画展示室 2F 加藤まさを展示室、映像展示室 野外ステージ

✳️ スポーツ

名 称	所在地	施 設・内 容
町 営 野 球 場	久保1135	野球場、テニスコート3面
ゲートボール場	〃	ゲートボール場3面
須賀多目的広場	須賀514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
海 洋 セ ン タ ー	久保1135-1	体育館、会議室
海 洋 セ ン タ ー プ ール	〃	25mプール1、幼児用1
御宿台公園 テ ニ ス 場	御宿台53番地	テニスコート6面
町 営 ウ ォ ー タ ー パ ー ク	須賀2208	プール、スライダー

姉妹都市

【姉妹都市】

アカプルコ市（メキシコ）

昭和53年8月姉妹都市協定締結

【姉妹館】

御宿町歴史民俗資料館

ボウボウアタマ博物館

（ドイツ・フランクフルト市）

平成3年11月姉妹館提携締結



区分	番号	名 称	所在地・指定地・伝承地	所有者・又は・伝承地	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田626	御 宿 町	昭和41.12.2
〃	2	紙本著色大田喜藩陣列之図	〃久保2,200	御 宿 町	〃 61.1.14
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	御宿町久保1,916	岩 瀬 禎 之	〃 49.3.27
〃	2	木造阿弥陀如来坐像	御宿町浜572-1	妙 音 寺	〃 49.3.27
〃	3	亀 甲 地 双 鶴 鏡	〃 〃	〃	〃 〃
〃	4	白 銅 鏡	〃 〃	〃	〃 〃
〃	5	木造大日如来坐像	御宿町上布施1,474	真 常 寺	〃 〃
〃	6	木造如意輪観音坐像	〃 〃	〃	〃 〃
〃	7	十 王 堂 縁 起	御宿町六軒町	十 王 堂	〃 〃
〃	8	最 明 寺 夫 婦 銀 杏	御宿町須賀668	最 明 寺	〃 53.3.27
〃	9	旧 役 場 大 蘇 鉄	〃 〃 160	御 宿 町	〃 〃
〃	10	双 盤	〃 〃 668	最 明 寺	〃 54.6.27
〃	11	小 幡 神 楽 囃 子	〃 上布施小幡	保 存 会	〃 57.6.29
〃	12	高 山 田 神 楽 囃 子	〃 高山田区	保 存 会	〃 57.9.28
〃	13	千 人 塚 供 養 塔	〃 新町字千人塚	妙 昌 寺	〃 59.1.11
〃	14	閻 魔 胎 内 像・十 王 像	〃 六軒町	十 王 堂	〃 〃
〃	15	伊 勢 参 宮 絵 馬	〃 上布施	八 幡 神 社	〃 〃
〃	16	真 常 寺 石 塔	〃 上布施1,474	真 常 寺	〃 〃
〃	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	〃 六軒町	十 王 堂	〃 60.2.12
〃	18	木造阿弥陀如来坐像	〃 浜618-1	観 音 寺	〃 〃
〃	19	木造傳祐上人坐像	〃 須賀668	最 明 寺	〃 〃
〃	20	旧 布 施 村 絵 図	〃 実谷	実 谷 区	〃 62.2.19
〃	21	千 箇 寺 参 御 首 題 帳	〃 上布施1,800	吉 野 信	〃 〃
〃	22	孝 女 竹 永 志 保 の 碑	〃 上布施827	上 布 施 区 新 宿	〃 62.10.27
〃	23	月 夜 見 神 社 の 宝 塔	〃 浜	三 夜 様	平成4.1.30
〃	24	貝 海 女 具 一 式	〃 久保2,200	御 宿 町	〃 5.2.25
〃	25	ハワイ出稼ぎ渡航関係	〃 上布施3,280	吉 田 好 武 蔵	〃 5.2.25
〃	26	八坂神社旧御輿廻り飾り	〃 実谷	実 谷 区	〃 7.5.25
〃	27	久保区行屋跡の宝塔	〃 久保2,200	久 保 区	〃 7.5.25

指定文化財

御宿町暮らしのダイジェスト

人口密度



1 km²に338人

家 族



1世帯に3人

転 入



1日に1人

転 出



1.1日に1人

結 婚



12.6日に1組

離 婚



40.6日に1組

出 生



6.3日に1人

死 亡



4.1日に1人

火 災



5 件

交通事故



12.2日に1件

水道使用量



1人1日平均341ℓ

ゴ ミ



1日平均14.6トン

町 職 員



町民77人に1人

教 員



小学生12人に1人
中学生13人に1人
(8年5月1日現在)

商 店



22世帯に1店

町 税



1人当たりの負担
139,805円

自 動 車



1世帯に1.6台

子どもの数

(15歳以下)



2.8世帯に1人

救急車出動



1.6日に1件

町の台所



一般会計からの支出額
町民1人当たり402,388円

御 宿 の 唄

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章
唄 すすらん姉妹

- 一、あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり
忘れられよが 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町
- 二、星の数ほど 寄せては返す
色もとりどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の町 海の町
- 三、月のあかりに 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻るか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

- 一、星みれば はるかに杳く
雲みれば つきせぬ想い
去りゆきし 君に話わねど
御宿の ああ 海の恋しさ
- 二、風吹けば、風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや
ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる
- 三、朝には あしたの祈り
夕には ゆづべの願い
嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはただ ああ 幸をこののみ

房州御宿音頭

作詩 石川澤月
作曲 藤井凡大

- 房州 御宿宝の庫よ
 Hanson ヤ ドウシタ ドウシタ
海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金
 Hanson ヤ ヤッサイ
 ヤッサイ ドントネ
- 房州御宿 網代の浜は
 銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜
 潮を黒潮 流れて巻いて
 風は汐風 風は汐風 恋の風
 あんな男を梶子にもつて
 ぬれて苦労が してみた
 お前や水底 わしや風の中
 つなは一筋
 つなは一筋 血が通う
 板子一枚いといはせぬが
 ぬれるお前が
 ぬれるお前が いとおいしい

- 房州御宿旅立つ朝は
 雨も降らぬに
 雨も降らぬに 袖しほる
 舟は帆まかせ 帆は風まかせ
 わたしやお前の わたしや
 お前のつなまかせ

御宿囃し

作詩・作曲 加藤まさを
編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

- 一、ドンとドンとドンと男波が踊る
踊る男波に抱かれて歌う
女波いとしや月夜の晩は
御宿囃して浮かれ出す
- 二、山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が
月の沙漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿
- 三、磯の華かよ岩和田の海女は
浮いて沈んで浮いて
浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に
- 四、昼は砂丘に浜昼顔が
夜は砂丘に宵待草が
粋な浜風花から花に
若い二人の燃える頬に
- 五、椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウ口ウ 磯パン無しの
可愛い人魚が蠟燭岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

御宿のうた

…晴れた日は
作詩・作曲 真木順子

- 一、晴れた日は 海へ行こう
白い砂浜がつづく
ほくたちに ほほえむよ
風もきうきうきう
きれいな町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は
- 二、雨の日は 耳をすまそう
波の音が聞こえるよ
母さんの子守唄 トロトロ
ねむりたい
やさしい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は
- 三、言葉には ならないけど
胸の奥がしむむ時
メキシコの丘に立てば
心がなごむ
あたたかい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は
- 四、月の夜は 海をみつめ
君は何を想うの
背に乗って歩きたいね
ラクダにゆらゆらと
夢のある町だね 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

月の沙漠

作詩 加藤まさを
作曲 佐々木すくる

一 月の沙漠を はるばると
旅のらくだが 行きました
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きました

二 金のくらはは 銀のかめ
銀のくらはは 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもでむすんで ありました

三 先のくらはは 王子さま
あとのくらはは お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白い上衣を 着てました

四 広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどごへ 行くのでしよう
おぼろにけがる 月の夜を
ついのらくたは とほとほと
砂丘を越えて 行きました
だまつて越えて 行きました



町内の官公署・団体施設一覧

役場関係	〒299-51 市外局番0470	
御宿町役場	須賀1522	☎ (68) 2511
公民館	久保2200	☎ (68) 2947
歴史民俗資料館	〃	☎ (68) 4311
月の沙漠記念館	六軒町505-1	☎ (68) 6389
御宿町児童館	新町419	☎ (68) 4542
岩和田児童館	岩和田788	☎ (68) 4392
社会福祉協議会	久保1135-1	☎ (68) 6725
地域福祉センター	〃	☎ (68) 6725
海洋センター	〃	☎ (68) 4143
清掃センター	久保1041	☎ (68) 4613
浄水場	実谷519	☎ (68) 4855
町営運動場(管理棟)	久保1135	☎ (68) 4794
御宿台公園テニスコート	御宿台53	☎ (68) 6959
町営ウォータerpark	須賀2208	☎ (68) 3923
学校施設		
教育委員会	須賀1522	☎ (68) 2511
御宿保育所	久保2180	☎ (68) 2459
岩和田保育所	岩和田926	☎ (68) 2944
御宿小学校	久保2232	☎ (68) 2009
岩和田小学校	岩和田1703	☎ (68) 2254
布施小学校	上布施909	☎ (68) 2437
御宿中学校	新町68	☎ (68) 2101
県立御宿高等学校	久保1511	☎ (68) 2911

警 察		
駅前駐在所	須賀188	☎ (68) 2100
六軒町駐在所	六軒町488	☎ (68) 2719
布施駐在所	上布施860-3	☎ (68) 4499
その他		
御宿駅	須賀191	☎ (68) 2053
御宿郵便局	須賀449	☎ (68) 2871
布施郵便局	上布施1400	☎ (68) 2870
御宿町漁業協同組合	浜2164	☎ (68) 2611
岩和田漁業協同組合	岩和田945	☎ (68) 2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀167	☎ (68) 2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田1171-3	☎ (68) 2654
御宿町観光協会	須賀1522	☎ (68) 2414
御宿町体育協会	久保2200	☎ (68) 2947
御宿町商工会	新町417-22	☎ (68) 2818
御宿町商店振興会	〃	☎ (68) 2818
御宿町民宿組合	須賀191	☎ (68) 2325
御宿町旅館組合	〃	☎ (68) 4419